

## 2012 年度の検討のまとめ

2013 年 8 月

愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会

## 目次

はじめに：検討の経過	5
1 .長良川河口堰建設の検証	15
( 1 ) 長良川河口堰の検証事項	15
1 ) 長良川河口堰建設の目的の正当性の検証	15
2 ) 長良川河口堰建設・運用によって損なわれた価値の検証	15
3 ) 参加・透明性・説明責任を三原則とした長良川河口堰最適運用の方法の検討	15
( 2 ) 事業者が示した長良川河口堰建設の目的と効果	15
1 ) 長良川河口堰建設の目的	15
2 ) 長良川の治水対策と長良川河口堰の役割については、次のように説明されている。	16
3 ) 長良川の利水対策と長良川河口堰の役割については、次のように説明されている。	18
4 ) 長良川下流部における利水の状況(平成 21 年 4 月現在)	19
( 3 ) 長良川河口堰建設の目的達成度についての検証	19
1 ) 長良川の治水のための方法としての「浚渫」の検証	19
2 ) 長良川河口堰の「利水」の検証	22
2 .開門調査の考え方	33
( 1 ) 「自然と共に機能する」という「河川思想」	33
( 2 ) 「永続的な開門」と「開門調査」の区別を明確に行う	33
1 ) 「永続的な開門」の効果	33
2 ) 「開門調査」の必要性	34
3 ) 長良川のゲート操作の課題	34
4 ) 「治水」、「利水」、「塩害防止」の効果を損なわない方法	34
3 . 塩害チームの検討のまとめ	38
( 1 ) 塩害チームの目的	38
( 2 ) 検討課題の検討	38
1 ) 建設前の塩水遡上の実態	38
2 ) 浚渫後の塩水遡上予測の妥当性の検討	41
3 ) 開門に伴う塩害の発生の可能性	42
( 3 ) 2012 年度の検討報告と検討上の問題点	43
1 ) 第 1 回	43
2 ) 第 2 回	44
3 ) 今年度、明らかになった問題点	44

( 4 )	2013 年度への持ち越し課題	44
1 )	塩水遡上予測の再計算	45
2 )	開門調査に向けての課題の整理・検討	45
3 )	利水チームと塩害チームとの問題点の共通理解	45
4 .	利水チームの検討のまとめ	46
( 1 )	利水チームの目的	46
( 2 )	検討課題の抽出	46
1 )	検討課題の抽出	46
2 )	手順と手続きの確認	46
( 3 )	検討課題の優先順位の修正	47
1 )	開門に伴って現状変更が想定される事項	47
2 )	知多半島の水源転換に関する検討	47
3 )	福原輪中の塩害防止に関する検討	48
( 4 )	2012 年度の検討報告と検討上の問題点	48
1 )	優先して検討を行う 2 項目	48
2 )	三重県、岐阜県との関係を配慮しながら、検討を行う項目	48
3 )	2012 年度、明らかになった問題点	48
( 5 )	2013 年度への持ち越し課題	51
1 )	開門調査を実現するための利水分野の対策	51
2 )	具体的な開門調査期間を実現するための方策の提示	51
3 )	方策提示にあたって示すべき点	51
4 )	2013 年度の利水チームのその他の課題	51
5 .	環境チームの検討のまとめ	57
( 1 )	環境チームの目的	57
( 2 )	検討課題の抽出と議論の方法	57
1 )	開門による変化の予測	57
2 )	予想される変化の評価	57
3 )	開門方法の検討	57
( 3 )	検討結果	57
1 )	開門による変化の予測	57
2 )	予想される変化の評価	60
3 )	効果的な開門方法及び効果判定のための観測	60

( 4 )2013 年度への持越し課題	61
1 )利用を越えた自然の価値の確立	61
2 )開門影響の量的な把握と県独自の率先行動	62
3 )塩害・利水との調整	62
4 )その他	62
6 . 次の作業に向けて	63
( 1 )河口堰開門調査への道筋は腰を据えて	63
( 2 )国土交通省と岐阜県・三重県の理解	63
( 3 )愛知県庁の作業の加速化	63
( 4 )国民・県民の関心	64

巻末資料 1 「長良川河口堰に関する技術報告平成 4 年 4 月」への質問に対する回答

巻末資料 2 愛知県庁内検討チームの検討状況